

## 市民大学ウォーク⑮

### 「近江八幡と瓦 ～伝統的な街並みを歩く～」

#### 【内 容】

近江八幡は八幡山城の城下町として栄え、江戸時代には交通の要衝であることを活かし商工業で大きく発展しました。現在でも商家や町屋が多く残っており、趣向を凝らした装飾瓦や建築手法が散見されます。また、八幡堀は運搬路として工業を支え、昭和初期までは多くの瓦工房が付近に立地していました。今回の市民大学ウォークでは、近江八幡市八幡の街並みを、瓦や民俗に注目しながら歩きたいと思います。

【コ ー ス】 「小幡町資料館前」バス停前→新町通り→旧伴家住宅→日牟禮八幡宮→  
→かわらミュージアム→八幡堀→永原町通り→近江八幡駅  
※約3.7キロのコース

【実 施 日】 令和4年10月1日（土）

【引 率】 西連寺 匠（帝塚山大学文学部講師・附属博物館学芸員）

【参 加 費】 無料（要入館料：旧伴家住宅 400 円、かわらミュージアム 300 円）

【集 合 場 所】 「小幡町資料館前」バス停前  
（JR琵琶湖線近江八幡駅よりバス6分、徒歩30分）

【集 合 時 間】 13：30

【解 散 場 所】 近江八幡駅

【解 散 時 間】 16：30（予定）